

# 保育園における

# 事故防止と安全管理

長野県長野保健福祉事務所長  
兼長野保健所長

田中 哲郎



## 保育者必携バイブル！

事故をよく知ってしつかり対応すれば防止できる  
万が一事故が発生してもトラブルにならない

**安全管理重点記載！！**  
すぐに役立つチェックリスト満載！

表 2-77 5歳児クラス用事故防止チェックリスト

記入日：平成 年 月 日

園長	記入者

項目	実施状況				コメント
	必ず実施	したい実施	余り実施せず	実施せず	
1 子どもが遊んでいる遊具やまわりの安全を確認している					
2 すべり台やブランコ、ジャングルジムなど、遊具の遊び方のきまりを守らせるようにしている					
3 おもちゃを持ったり、カバンをかけたまま、すべり台やジャングルジムで遊ぶことがないように注意している					
4 すべり台の上でふざけたり、逆さ登りをさせないようにしている					
5 揺れているブランコには近づかないように注意している					
6 シーソーは反対側に人が乗ると、急に上にあがることを教えている					
7 登り棒の登り方、降り方を指導し、必ず付き添うようにしている					
8 砂場では砂の汚染や量、回りの枠について注意点検している					
9 シャベルやヘラの取り合いや、振り回さないなど砂場での正しい遊び方を指導している					
10 砂場周辺は砂で滑りやすいことを注意し、指導している					
11 鉄棒の近くで遊ぶと勢いあまって衝突することがあることに注意している					
12 鉄棒で遊ぶときは、必ず横で付き添うようにしている					
13 三輪車の足掛け乗りやスクーターはスピードがつくと転倒しやすいことを知り遊ばせている					
14 園庭の状況にあった遊び方を選び、保育者は子どもの行動を常に確認できる状況である					
15 足にあった靴を履いているか確認している					
16 縄跳びのロープは使用後片づけるようにしている					
17 フェンスや門など危険な高いところに登らないように指導している					

	必ず実施	したい実施	余り実施せず	実施せず	コメント
18 室内では衝突を起こしやすいので、人数やルールを考えて遊ばせている					
19 子どもの腕を強く引っぱらないように注意している					
20 肘内障を起こしやすい子どもは、職員全員が把握している					
21 子ども同士手をつないでいるとき、引っ張り合い肘内障になることがあるので注意している					
22 手にけがをしていたり、ふさがっているときは、バランスを取りにくく、転びやすいので注意している					
23 いすを後ろに揺すっていたり、後ろ向きに座らないよう、正しい使用法を教えている					
24 ロッカーや棚は倒れないものを使用している					
25 マットを使用後はそのままにせず、必ず片づけている					
26 室内は整理整頓を行い、使用したものはすぐに収納場所に片づけている					
27 ハサミや皮剥き器など正しい使い方をさせ、使用したら必ず片づけている					
28 おはしや歯ブラシなどをくわえて走り回ることがないように注意している					
29 給食の魚を食べるときは骨に注意し、食べ方を指導している					
30 調理活動中に包丁を使用するときは、常に付き添い指導を行うようにしている					
31 先の尖ったものを持っているときは、人に向けたり、振り回したりしないように指導している					
32 子どもが直接ふれてやけどをするような暖房器具を使用していない					
33 床が濡れていたらすぐに拭きとるようにしている					
34 トイレや手洗い場では走らせない					
35 トイレ用の洗剤や消毒液は子どもの手の届かない所においている					
36 水遊びをするときは、必ず保育者が付き添っている					
37 ウサギなどの小動物と遊ぶときは、そばについて注意している					

	必ず実施	したい実施	余力実施せず	実施せず	コメント
38 焚き火の後は熱いことを教え、立ち入らないように指導している					
39 散歩のときは人数確認をしている					
40 道路では飛び出しに注意をしている					
41 歩道には危険なものがないか注意している					
42 バイクのマフラーは熱いことあるのでさわらせない					
43 手をつないで走ると、転んだときに手をつきにくいことを保育者は理解し、指導している					
44 散歩のとき、園が近づくと早く帰園しようとして、走ったり足早になると危険であることを、保育者が理解している					
45 前を見て歩かせ、列全体のスピードを考え誘導している					
46 坂道は走ると勢いがつくことを保育者は理解し、指導している					
47 公園では園の施設に比べ安全面が十分でないことを知り慎重に対応している					
48 年齢にあったアスレチックか、雨などで滑りやすくなっていないかなど点検して遊ばせている					
49 石は人に向かって投げてはいけないことを指導している					
50 犬や動物は咬んだり、鶏はつつくことがあることを子どもに教え、注意している					
51 川や海岸では貝やガラスなど鋭利なものがあることを考え、裸足にして良いか慎重に判断している					
52 蜂の巣がないか点検している					
53 蜂の嫌がることをすると刺されることを教えている					

表 2-78 事故防止のための活動別配慮事項

活動	保育者の配慮事項
登園	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 家庭での様子を聞き、健康状態を把握する。</li> <li>▶ 傷がある場合は、いつ受診した傷か確認をしておく。</li> <li>▶ 降園時に安全・確実に引き渡すため、お迎えの時間・者を確認する。</li> <li>▶ 病院受診の連絡などのために、緊急連絡先の変更がないかを確認しておく。</li> <li>▶ 園で飲む薬がある場合は、依頼内容を確認し受けとる。</li> <li>▶ 保護者と話をしながらも子どもの行動に気を配る。</li> <li>▶ 爪が伸びていないか、活動しやすい服装かなどを確認する。</li> <li>▶ 保護者からの伝言は確実に担任に申し送る。</li> </ul>
室内遊び	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 室内は整理整頓を行い、使用した物はすぐに収納場所に片づける。</li> <li>▶ ロッカーや棚は倒れてこないか確認をする。</li> <li>▶ 衝突しやすい角や家具にはガードを取り付ける。</li> <li>▶ 乳児の座るまわりには、角が硬く、するどいものは置かないようにする。</li> <li>▶ おもちゃは年齢に合っているか、破損はないか確認をする。</li> <li>▶ 乳児クラスでは口の中に入ってしまうような小さなおもちゃは出しておかない。</li> <li>▶ 遊び終わったおもちゃは片づけながら遊ばせるようにする。</li> <li>▶ クレヨンや粘土を誤飲しないように注意する。</li> <li>▶ 鼻や耳に小物を入れて遊ばせないように注意する。</li> <li>▶ おもちゃを友達に投げつけたり、振り回さないように注意する。</li> <li>▶ 絵本や紙芝居の角には注意する。</li> <li>▶ ドアの開閉の際は、子どもの指の位置を確認してから行う。</li> <li>▶ 引出しやドアを開け閉めして遊ばせないようにする。</li> <li>▶ いすに立ち上がったたり、机に乗ったり、もぐったりしてふざけさせない。</li> <li>▶ はさみを使用したら出したままにせず、必ず片づける。</li> <li>▶ マットはめくれないようにしておく。</li> <li>▶ 子どもの腕を強く引っ張らないように注意する。</li> <li>▶ かみつぎが激しい子には素早く防止できるように気を配る。</li> <li>▶ 子どもの活動は常に把握する。</li> </ul>
クラス別の活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 子どもには帽子をかぶせ、足のサイズにあった靴であるか確認をする。</li> <li>▶ 保育者の姿が見えないところでは遊ばないことを教える。</li> <li>▶ 誰がどこで遊んでいるかを把握し、人数の確認をたびたび行う。</li> <li>▶ 固定遊具の安全点検を定期的に行う。</li> <li>▶ 遊具は年齢に合っているか、破損はないか、濡れてすべりやすすくないかなどの確認を行う。</li> <li>▶ 固定遊具の側には保育者が付き添い、遊び方やきまりを教える。</li> <li>▶ 遊具は仲良く、順番に使えるように指導する。</li> <li>▶ 揺れているブランコには近づかないように指導する。</li> <li>▶ ブランコは立ち乗り、飛び降り、左右に揺らしたり、鎖をねじったりしないことを教える。</li> <li>▶ おもちゃを持ったり、かばんを掛けたまますべり台で遊ばせない。</li> <li>▶ すべり台の上や階段でふざけたり、押ししたり、逆さから登らないように教える。</li> <li>▶ すべり台では衝突しないように、前の子どもが滑り終わってから順番に滑るようにさせる。</li> <li>▶ 非常階段・非常用すべり台には緊急時以外は登らないことを教える。</li> <li>▶ 友達が鉄棒で遊んでいる時、近づくとぶつかってしまう危険を教える。</li> <li>▶ 鉄棒で遊ぶ時は手を離さないこと、無理な姿勢を取らないことを教える。</li> <li>▶ おもちゃを友達に投げつけたり、振り回さないように指導する。</li> <li>▶ 砂場の汚染や周りの枠の安全点検を行う。</li> <li>▶ 三輪車やスクーターはスピードがつくと転倒しやすいことを教える。</li> <li>▶ 縄とびやロープは出したままにせず、片づける。</li> <li>▶ フェンスや門などに登ることがないように注意する。</li> </ul>
散歩	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 目的地、コース、人数、引率者、帰園時間を知らせて行く。</li> <li>▶ 応急手当用品・携帯電話・防犯用品を持参していく。</li> <li>▶ 子どもには帽子をかぶせ、足のサイズにあった靴であるか確認をする。</li> <li>▶ ベビーカーに乗せる時は必ずベルトを締めたか確認をする。</li> <li>▶ 列の前後には保育者がつくようにする。</li> <li>▶ 人数確認は複数の保育者で頻回に行う。(出発時、途中、帰園時)</li> <li>▶ 列全体の歩くスピードを考え誘導する。</li> <li>▶ 道路に落ちていてるものをむやみに拾わないように注意する。</li> <li>▶ 手をつないでいる時、引っ張りあって肘内障になることがあるので注意する。</li> <li>▶ 横断歩道の渡り方や道路では飛び出さないなど、交通安全のルールを教えていく。</li> </ul>

クラス別の活動	<p>散歩</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 公園で遊ぶ際は地域の子どもも利用しているので、人数確認・遊び方に気を配る。</li> <li>▶ 公園の遊具は必ずしも安全とはいえないので、年齢にあった遊具なのか、濡れてすべりやすいかを十分確認してから使用する。</li> <li>▶ 固定遊具の側には保育者が付き添う。</li> <li>▶ ジュースの空き缶やタバコ、動物の糞など誤飲すると危険な物がないか確認をする。</li> <li>▶ 池や川、用水路など水辺を通る時は転落しないように見守る。</li> <li>▶ 犬や猫は見せるだけにして触らせない。</li> </ul>
排泄	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ おむつ交換時、高い所に寝かせたままにして側を離れない。</li> <li>▶ 着替えやおむつ交換時に肘内障を起こしやすいので、無理に腕を強く引っ張らないようにする。また肘内障を起こしやすい子を把握しておく。</li> <li>▶ 1～2歳児はトイレの水を流そうとレバーを操作した時にバランスを崩して打撲しやすいので、介助し見守る。</li> <li>▶ 床が濡れていると転倒しやすいので、雑巾などで拭き、ドライにしておく。</li> <li>▶ トイレや手洗い場では走らないように指導する。</li> <li>▶ ドアの蝶番には指を入れないように指導すると共に、入らないようにガードを貼る。</li> <li>▶ トイレの洗剤や消毒液などは出したままにしておかず、必ず手の届かない所に片づける。</li> <li>▶ バケツに水をためたままにしておかない。</li> </ul>
沐浴	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ お風呂の水はためておかない</li> <li>▶ シャワーや湯船の温度は保育者自身が触れて確認をする。</li> <li>▶ 濡れているとすべりやすい乳児を落さないようにする。</li> </ul>
給食	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 誤飲・窒息を防ぐため、年齢にあった形態（大きさ・硬さ）を確認する。</li> <li>▶ 口に食べ物を詰めすぎないようにする。</li> <li>▶ お味噌汁やスープの温度に注意をする。</li> <li>▶ 骨が喉にさざらないように、魚を食べる時は骨に気をつけさせる。</li> <li>▶ いすをばたばたさせて転落しないように、食事のマナーを知らせていく。</li> <li>▶ フォークやお箸、歯ブラシを振り回したり、くわえて走り回らせない。</li> <li>▶ 食物アレルギー児の除去食・代替食は間違えて提供しないように確認をしあう。</li> <li>▶ 調理活動（クッキング保育）では正しい包丁の使い方を指導する。</li> <li>▶ 依頼を受けた薬は間違いなく飲ませる。</li> </ul>
午睡	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 乳児にうつ伏せ寝はさせない。</li> <li>▶ 1歳の誕生日までは寝顔や呼吸の状態（寝息・胸の上下の動き）をチェックする。</li> <li>▶ 室温調節はこまめに行い、暖めすぎ、冷やしすぎがないようにする。</li> <li>▶ ベットの柵は必ず上げておく。</li> <li>▶ ベットの柵とマットレス・敷布団の間に隙間がないことを確認する。</li> <li>▶ 敷布団は固めのものを使用する。</li> <li>▶ 乳児はミルクを飲ませた後、排気をさせてから寝かせる。</li> <li>▶ 寝ている乳児の顔の周りに、ぬいぐるみをたくさん置いたりしない。</li> <li>▶ 保育室は子どもの状態が確認できる明るさにしておく。</li> <li>▶ 物が落ちてこないところで寝かせる。</li> <li>▶ 顔にタオルや掛け布団がかからないようにする。</li> </ul>
おやつ	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 誤飲・窒息を防ぐため、年齢にあった形態（大きさ・硬さ）を確認する。</li> <li>▶ 口に食べ物を詰めすぎないようにする。</li> <li>▶ 食物アレルギー児の除去食・代替食は間違えて提供しないように確認をしあう。</li> </ul>
降園	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 健康状態をチェックする。</li> <li>▶ 園でのけがは保護者に傷を確認してもらい、伝え忘れがないようにする。</li> <li>▶ 保護者と話をしながらも子どもの行動に気を配る。</li> <li>▶ 死角が多くなる時間帯なので、夕方の遊びや生活のルールを決め、安全を確保する。</li> <li>▶ お迎えにきて降園した子どもと、保育中の子どもをチェック簿などで時間帯ごとに人数の確認を行って把握しておく。</li> <li>▶ お迎え予定者でない人が来た時はすぐに子どもは渡さず、お迎え予定者に確認をとる。</li> <li>▶ 保護者に受け渡した後でも、園内にいる場合は遊具での遊び方には気を配る。</li> </ul>
延長保育	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 引継ぎを確実にし、担任からの伝言を担当者が責任をもって保護者に伝える。</li> <li>▶ 年齢差のある0～5歳児が過ごすので、誤飲につながるようなおもちゃは使用しない。</li> <li>▶ 夕刻で集中力が子どもも保育士も低下していることや、受診できる病院も少ない時間帯なので、安全保育に心がける。</li> <li>▶ 保護者と話をしながらも子どもの行動に気を配る。</li> <li>▶ お迎えにきて降園した子どもと、保育中の子どもをチェック簿などで時間帯ごとに人数の確認を行って把握しておく。</li> <li>▶ お迎え予定者でない人が来た時はすぐに子どもは渡さず、お迎え予定者に確認をとる。</li> </ul>

## 著者略歴

### 田中 哲郎

長野県長野保健福祉事務所長兼長野保健所長

久留米大学客員教授(医学部医学科)  
消費者庁「子どもを事故から守るプロジェクト」アドバイザー  
長野県健康福祉部こども・家庭課こども安全推進医監

1971年 東京医科大学卒業  
1973～75年 米国カリフォルニア大学サンフランシスコ  
メディカルセンター留学  
1975年 大学院修了 医学博士 東京医科大学小児科学教室  
1978年 国立小児病院循環器科  
1979年 同麻酔科  
1980年 東京医科大学八王子医療センター小児科  
1984～85年 米国ピッツバーグ大学小児病院留学  
1987年 東京医科大学小児科助教授  
1997年 国立公衆衛生院母子保健学部長  
2002年 国立保健医療科学院生涯保健部長  
2007年 久留米大学客員教授(医学部医学科)  
2008年 長野県立こども病院副院長  
2010年 長野県長野保健福祉事務所長 兼 長野保健所長

## 保育園における 事故防止と安全管理

定価(本体2,500円+税)

2011年8月10日 初版発行

著 者 田中哲郎  
編 集・発 行 株式会社 日本小児医事出版社  
〒160-8306 東京都新宿区西新宿5-25-11  
TEL 03(5388)5195 FAX 03(5388)5193  
URL://shoni-iji.com

印 刷 昇美印刷株式会社 Printed in Japan 2011

ISBN978-4-88924-213-3 C3047 ¥2500E

ISBN978-4-88924-213-3 C3047 ¥2500E

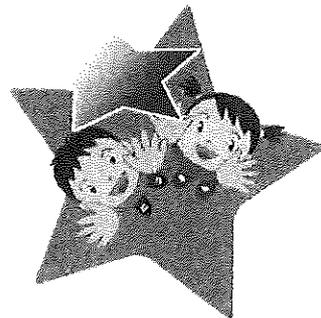
定価 (本体 2,500円 + 税)



9784889242133



1923047025005



## これは便利！

保護者向けパンフ (イラスト入り) が手軽に作れる

保育園・幼稚園・ベビーシッターなど  
保育に携わる方にぜひこの1冊を！

定価 2,625円 (本体2,500円+税)

日本小児医事出版社